

広島県で採取された雨水中の栄養塩濃度について

メタデータ	言語: Japanese 出版者: 公開日: 2024-08-06 キーワード (Ja): 雨水; 栄養塩; 広島県; 瀬戸内海 キーワード (En): 作成者: 阿部, 和雄 メールアドレス: 所属:
URL	https://fra.repo.nii.ac.jp/records/2010608

This work is licensed under a Creative Commons Attribution 4.0 International License.



広島県で採取された雨水中の栄養塩濃度について

阿部和雄

海域への栄養塩類供給機構の一つとして降雨が考えられるが、雨水自体の栄養塩濃度等の把握は十分とはいえない。本調査では、雨水起源の栄養塩類に焦点を当て、小型・軽量かつ無動力で稼働する安価な機器を使用して、降水量1mm毎に細分して雨水を採取し、試水中の硝酸塩、亜硝酸塩、アンモニア、リン酸塩およびケイ酸を定量した。その結果、概ね硝酸塩とアンモニアが降り始めの雨水中で高い値を示し、その後減少する傾向を示した。これは、大気中の窒素化合物等を雨水が溶かし込んで落下することに起因するものと考えられる。また50mmの降水量を仮定すると、海面下50cmでは窒素態栄養塩で約2 μ Mの濃度上昇が起こることが期待された。